

医会ニュース

●発行人 吉田英機

●編集 細部高英

●発行所 〒140-0004 品川区南品川3-6-51 小川クリニック内

東京泌尿器科医会 TEL 03-5460-1188 FAX 03-5460-1195

主な記事

第39回東京泌尿器科医会学術集会開催 1/保険診療のQ&A 5

東京都各科医会協議会報告 8/Tokyo Urological Association 9

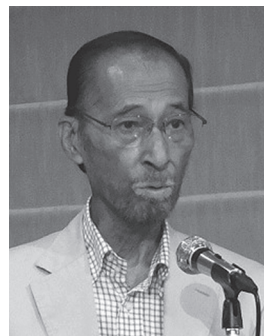
病院めぐり 9/新規開業紹介 10/隠れ家紹介/編集後記 12

第39回東京泌尿器科医会学術集会開催



平成26年8月30日(土)に京王プラザホテルにて第39回東京泌尿器科医会学術集会が開催された。会場には64名(医師61名、賛助会員3名)が参加し、本間次郎理事の総司会で吉田英機会長挨拶から始まった。まず相澤卓理事の座長で久光製薬株式会社TDDS研究所所長 寺原孝明様より「経皮吸収型(TDDS)過活動膀胱治療剤ネオキシテープの開発とTDDSの将来展望」と題してご講演頂いた。

久光製薬の研究での皮膚吸収TDDS製剤の古くからの開発の歴史からTDDSのドラッグデリバリーの特長として内服薬に勝る効果の安定性や副作用の軽減、TDDSの注射製剤への応用など興味深い内容であった。



次いで斎藤忠則理事の座長で特別講演が行われた。今回は日本大学医学部泌尿器科系泌尿器科学分野主任教授 高橋悟先生から「新しいMale LUTS治療：パラダイムシフトは起こるのか」と題してご講演頂いた。前立腺肥大症治療薬の歴史と $\alpha 1$ ブロッカー、 5α 還元酵素阻害剤、今年発売のPDE5阻害剤の位置付けと今後の治療の方向性を最新のRCTなどをご提示、わかりやすくご講演いただき日常診療にすぐに役立つ内容であった。続いて山口健哉理事から保険診療のQ&Aで事前の質問事項を詳細に解説いただいた。

特別講演

新しいMale LUTS治療：パラ
ダイムシフトは起こるのか

日本大学医学部泌尿器科系泌尿器科学分野
主任教授 高橋 悟 先生

1993年 α_{1a} 受容体を選択性が高く心血管系への影響が少ない塩酸タムロシン（ハルナール®）が前立腺肥大症に伴う排尿障害治療薬としてわが国において開発された以降、周知のように α_1 遮断薬が前立腺肥大症の第一選択薬になっている。2006年に発売されたシロドシン（ユリーフ®）は α_{1a} 受容体への親和性が α_{1b} 受容体へのそれと比べて583倍と極めて高く、従来の α_1 遮断薬に比べてより強い排尿症状改善効果が期待できるが、射精障害を高頻度に認める。一方1999年に発売されたナフトピジル（フリバス®）は、 α_{1d} 受容体への親和性



が高く、前立腺肥大症に伴う過活動膀胱症状への有用性が報告されると同時に、 α_{1a} 受容体への親和性が高い α_1 遮断薬と比較して、射精障害が起きにくく比較的若い患者に適しているといえる。我々はシロドシンとナフトピジルの治療効果と性機能に関する副作用を小規模なRCT（100例）で検討したが、前者が排尿症状のより良好な改善を示す一方、射精機能が有意に障害されるのに対して、後者は射精障害の発生が少なく92%の症例で射精が可能であった（Yamaguchi K, et al, Int J Urol, 20:1234, 2013）。

2014年4月に新しい前立腺肥大症治療薬が発売された。PDE5阻害薬であるタダラフィルは、前立腺や尿道の平滑筋をリラックスさせて、 α_1 遮断薬と同等の効果を持つことが示された（Eur Urol, 61:917, 2012）。さらに血管を拡張させて血流を改善させる作用も有するため、性機能（勃起機能）の改善なども期待出来る。現在長期処方出来ないが、すでに同薬服用を希望する多くの前立腺肥大症患者が外来を訪れており、長期処方が解禁となれば、 α_1 遮断薬から同薬への変更や新規処方症例の増加が予想される。

一方、前立腺肥大が強い場合は肥大の進行に

第40回 東京泌尿器科医会学術講演会（20周年記念大会） のお知らせ

日 時：平成27年3月7日（土） 17:00～

場 所：京王プラザホテル（会場は後日ご案内します）

1. 講演『東京泌尿器科医会の歩み』

東京泌尿器科医会初代会長 町田豊平先生

2. 講演『Male LUTS、最近の話題』

福井大学医学部附属病院副院長
泌尿器科学講座教授 横山 修先生

3. 講演『今後の医療情勢について』

国際医療福祉大学大学院教授
東京女子医科大学客員教授
元日本経済新聞論説委員 渡辺俊介先生

（平成25年度総会は今回20周年記念大会のため、9月の第41回学術集会のときに開催いたします）

つれて排尿障害が増悪し、将来尿閉や手術が必要になるリスクが高いが、男性ホルモンの前立腺への作用を選択的に抑制する5 α 還元酵素阻害薬がそのリスクを低下させる。つまり、このような場合に5 α 還元酵素阻害薬であるデュタステリド（アボルブ®）と α_1 遮断薬を併用すると、現在ある症状を改善しつつ、将来の尿閉・手術のリスクを減少させることが出来る。しかし、この併用療法の場合、前述の α_1 遮断薬による射精障害に加えて数%の頻度であるが、5 α 還元酵素阻害薬による性機能障害（性欲低下、勃起障害、射精障害）が加わる懸念がある。このように我々が日常診療で使用する薬剤によって、医原性の性機能障害が発生する可能性が少なからずある。最近海外で、タダラフィルと5 α 還元酵素阻害薬フィナステリドを併用することで α_1 遮断薬の射精障害を回避し、さらに5 α 還元酵素阻害薬による性機能障害を減らそうとする臨床研究が報告され興味深い（J Urol, 191:727, 2014）。

さらに、新しい過活動膀胱治療薬の β_3 作動薬ミラベグロン（ベタニス®）の効果は抗コリン薬と同等で、排尿障害の副作用が極めて少ない長所を持つため、前立腺肥大症に伴う Male OAB に相応しい薬剤といえる。

以上のように、第一選択薬 α_1 遮断薬を中心に確立したかに見えた Male LUTS 治療は、今パラダイムシフトの時期を迎えていると言える。

経皮吸収型 (TDDS) 過活動膀胱治療剤ネオキシ®テープの開発と TDDS の将来展望

久光製薬株式会社 研究開発本部
TDDS研究所 寺原孝明様

【ネオキシ®テープの開発】

経皮吸収型製剤（TDDS：Transdermal Drug Delivery System）は、現在医療現場にて汎用されている経口剤と比較し、血中濃度を長期間維持可能、初回通過効果の回避、患者アドヒアランスの改善、副作用の低減および投与中止が容易など、多くのメリットを有しており、患者の Quality of Life を向上させる剤形として広く用いられている。ネオキシ®テープ（本剤）は、オキシブチニン塩酸塩を含有する1日1回貼付型の経皮吸収型過活動膀胱治療剤として、2013年6月に販売開始された。オキシブチニン塩酸塩経口剤の用法は1日3回投与であり、経口投与における初回通過効果を受けやすい薬物であること、抗コリン作用を有するオキシブチニンは唾液腺や腸管、毛様体筋などのムスカリン受容体に作用し、口渇や便秘などを発現することが知られている。本剤は、オキシブチニン塩酸塩経口剤が有するこれら問題点を、TDDS にすることで克服した製品であり、



前立腺疾患治療剤

薬価基準収載品

セルニルトン®錠

組成、効能・効果、用法・用量、使用上の注意については製品添付文書をご参照ください。

〔資料請求先〕 東菱薬品工業株式会社 学術部
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-10-1

販売元  扶桑薬品工業株式会社

製造販売元  東菱薬品工業株式会社

2005年7月作成

今後、泌尿器科領域における薬剤選択の幅を広げる製品である。

本剤には当社の局所性 TDDS 製剤に採用している SIS 系基剤を用いた。当社の局所性 TDDS 製剤は、かぶれ防止のため各添加剤の配合比率を調整して皮膚の角層を剥離しにくいように設計されている。一方、本剤のような全身性製剤の場合は、貼付毎に貼付部位を変更可能なため、かぶれについては局所性製剤よりリスクは低下するが、角層を剥離する製剤では、粘着層表面に角質が付着することにより剥離部分の付着性が全く無くなるため、有効面積が低下すること、さらに剥離が進むことで投与期間中に製剤脱落するリスクが高くなることが予想される。したがって、本剤も局所性 TDDS 製剤の技術を採用し、角層が剥離せず、剥離部分が再付着性を有するよう設計されている。

オキシブチニン塩酸塩は 1988 年に本邦で上市された後、四半世紀に渡って臨床現場で使用され、その優れた有効性、安全性は広く周知のものとなっている。経皮吸収製剤を含むドラッグデリバリー技術は既存薬剤の有用性、安全性ならびに利便性を更に引き上げることで、その薬剤の持つポテンシャルを最大限に発揮させることを目的としており、本剤も同じ思想のもと設計・開発された製剤である。過活動膀胱は高齢者に罹患者が多く、2002 年に実施された疫学調査では 70 歳代でおよそ 5 人に 1 人、80 歳以上ではおよそ 3 人に 1 人の割合で過活動膀胱患者であり、今後さらなる高齢化社会への進展によりますます過活動膀胱患者が増えることが予想される。このような疫学的特徴ならびに社

会情勢から、嚥下障害を有する患者にも適用しやすく、副作用の少ないネオキシ®テープは過活動膀胱治療の有用な選択肢となることを期待したい。

【TDDS の将来展望】

外的エネルギーを利用した TDDS として電場を利用したイオントフォレシスや、超音波を利用するソノフォレシスの製品が上市され、今後も物理的経皮吸収促進法の開発が期待されており、最近では熱や微小針を用いて物理的に角質層へ微小な穴を形成させる様々な技術が数多く研究開発されている。その中でもマイクロファブリケーションと呼ばれる微細加工技術の発展から生まれた、マイクロニードル製剤は電源部などが不要なことから、比較的パッシブの貼付剤に近い形で製品開発可能であるため、当社を含め多くのメーカーが開発に取り組んでいる。該技術は理論的にはどんなものでもデリバリー可能であり、注射剤で汎用されているワクチンに代表されるタンパク製剤などの TDDS 化に期待が寄せられている。

入会のお誘い

東京泌尿器科医学会では只今新規入会のお誘いを行っています。

都内で開業ないし勤務する泌尿器科関連医師の方で、入会を希望される方は下記にお申込み下さい。

〒140-0004 品川区南品川3-6-51
小川クリニック 小川 肇
TEL. (03) 5460-1188 FAX. (03) 5460-1195



※「効能・効果」、「用法・用量」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。



5α還元酵素阻害薬 前立腺肥大症治療薬
製薬 | 処方せん医薬品(注意-医師等の処方せんにより使用すること) | 薬価基準収載
アボルブ®
Avolve® Capsules 0.5mg デュタステリドカプセル
製造販売元(輸入)
グラクソ・スミスクライン株式会社
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-6-15 GSKビル
グラクソ・スミスクラインの製品に関するお問い合わせ: 資料請求先
TEL: 0120-561-007(9:00~18:00/土日祝日および当社休業日を除く)
FAX: 0120-561-047(24時間受付)

2014年9月作成

保険診療の Q & A



日本大学医学部
泌尿器科准教授

山口健哉先生

1

QUESTION 1 (中央区 開業医)

2014年度診療報酬改定において、尿培養検査ではクラミジアDNA・淋菌DNA・細菌培養同定検査(泌尿器科又は生殖器からの検体)のいずれか一つしか認められません。早期の診断・治療が行えずに不都合です。同じ月の別々の日に算定することは可能ですか？

2

QUESTION 2 (文京区 開業医)

性病検査のため、尿培養(大腸菌や腸球菌)とクラミジア・淋病の培養検査を同時に実施すると、査定を受けたとよく聞きます。なぜ一度に出来ないのでしょうか？また今後、培養検査を細かく分けられないように厚労省に要望して頂きたい。

3

ANSWER 1・2

D023 微生物核酸同定・定量検査

2 淋菌核酸検出, クラミジア・トラコマチス核酸検出 204点

(1) ア 淋菌核酸検出, D012感染症免疫学的検査の「32」淋菌抗原定性又はD018細菌培養同定検査を併せて実施した場合は、主なもののみ算定する。

出典：医科点数表の解釈 平成26年4月版 P.446

4

ANSWER 1・2

D023 微生物核酸同定・定量検査

4 淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出 291点
ア (前略)

ただし、D012感染症免疫学的検査の「32」の淋菌抗原定性, 同区分「29」のクラミジア・トラコマチス抗原定性, D018細菌培養同定検査, 本区分「2」の淋菌核酸検出又はクラミジア・トラコマチス核酸検出を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

出典：医科点数表の解釈 平成26年4月版 P.447, 448

5

ANSWER 1・2

◎ D018 細菌培養同定検査

4 泌尿器又は生殖器からの検体 150点

×

D項査定

◎ D023 微生物核酸同定・定量検査

2 淋菌核酸検出 204点

(2 クラミジア・トラコマチス核酸検出 204点)

4 淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出 291点

出典：医科点数表の解釈 平成26年4月版 P.445, 446, 447

6

QUESTION 3 (文京区 開業医)

尿検査の「尿定性」と「沈渣」を別々で点数が取れるようにして頂きたい。

7

ANSWER 3

D000 尿中一般物質定性半定量検査 26点

D002 尿沈渣(鏡検法) 27点

D002-2 尿沈渣(フローサイトメトリー法) 24点

注1 同一検体について当該検査と区分番号D017に掲げる排泄物, 滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査を併せて行った場合は、主たる検査の所定点数のみ算定する。

2 当該保険医療機関内で検査を行った場合に算定する。

出典：医科点数表の解釈 平成26年4月版 P.400, 402, 403

8

ANSWER 3

D000	尿中一般物質定性半定量検査	26点
D002	尿沈渣（鏡検法）	27点
D017	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査	× D項査定 61点
3	その他のもの	

出典：医科点数表の解釈 平成26年4月版 P.400, 402, 445

12

ANSWER 5

- C106 在宅自己導尿指導管理料 1,800点
- (1)在宅自己導尿とは、諸種の原因により自然排尿が困難な患者について、在宅での療養を行っている患者自らが実施する排尿法をいう。
- (2)対象となる患者は、下記の患者のうち、残尿を伴う排尿困難を有する者であって在宅自己導尿を行うことが必要と医師が認めた者とする。
- ア 諸種の原因による神経因性膀胱
 - イ 下部尿路通過障害（前立腺肥大症、前立腺癌、膀胱頸部硬化症、尿道狭窄等）
 - ウ 腸管を利用した尿リザーバー造設術の術後

出典：医科点数表の解釈 平成26年4月版 P.371

9

QUESTION 4 (江戸川区 開業医)

保険審査委員の先生方は書面審査のため診療内容が十分把握できないこともあるかと思えます。時にどうしても納得できないような査定もあります。どなたが審査されたのか審査委員の氏名公表を求めることはできないのでしょうか？

出典：医科点数表の解釈 平成26年4月版 P.371, 387, 242

13

ANSWER 5

- C106 在宅自己導尿指導管理料 1,800点
- C163 間歇導尿用ディスポーザブルカテーテル加算 600点
- 注 在宅自己導尿を行っている入院中の患者以外の患者に対して、間歇導尿用ディスポーザブルカテーテルを使用した場合に、第1款の所定点数に加算する。
- B001 特定疾患治療管理料 170点
- 13 在宅療養指導料

出典：医科点数表の解釈 平成26年4月版 P.371, 387, 242

10

ANSWER 4

- 一般的に西日本（大阪府）の審査委員は公開されている。
- 東日本は原則非公開。

納得できない査定は、支払基金支部へ疑義照会又は医療機関再審請求を提出してください。

出典：医科点数表の解釈 平成26年4月版 P.361

14

ANSWER 5

- 第2部第2節第1款 在宅療養指導管理料 通則 (在宅療養指導管理料について)
- (1)在宅療養指導管理料は、当該指導管理が必要かつ適切であると医師が判断した患者について、患者又は患者の看護に当たる者に対して、当該医師が療養上必要な事項について適正な注意及び指導を行った上で、当該患者の医学管理を十分に行い、かつ、各在宅療養の方法、注意点、緊急時の措置に関する指導等を行い、併せて必要かつ十分な量の衛生材料又は保険医療材料を支給した場合に算定する。
- ただし、当該保険医療機関に来院した患者の看護者に対してのみ当該指導を行った場合には算定できない。(以下省略)

出典：医科点数表の解釈 平成26年4月版 P.361

11

QUESTION 5 (東村山市 勤務医)

- 自己導尿の患者さんを近医に紹介しますと、「ネラトンは2箱までしか処方してもらえない」と言われ、戻って来られます。
- セルフ1本、ネラトン4箱。(外出時はトイレに問題があり、セルフカテをゆすぐことができないため、ネラトンを使用するケースがほとんどです。)
- 管理料は物品料金ではないはずですので、東京に来てから大変戸惑っております。

15

ANSWER 5

- 第2部第2節第1款 在宅療養指導管理料 通則 (在宅療養指導管理料について)
- (12) 保険医療機関が在宅療養指導管理料を算定する場合には、当該指導管理に要するアルコール等の消毒薬、衛生材料（脱脂綿、ガーゼ、絆創膏等）、酸素、注射器、注射針、翼状針、カテーテル、膀胱洗浄用注射器、クレンジメ等は、当該保険医療機関が提供する。なお、当該医療材料の費用は、別に診療報酬上の加算等として評価されている場合を除き所定点数に含まれ、別に算定できない。

出典：医科点数表の解釈 平成26年4月版 P.362

16

QUESTION 6 (杉並区 開業医)

ザルティアとα1ブロッカー併用時の
査定状況は？
北陸地方では既に査定を受けた施設が出て
いると聞いています。

20

ザルティア錠 に対する質問

- 新規BPH患者に対して
 - ◎ 3つ全ての検査日の記載が必要か？
 - ◎ 3つのうちどれか1つの検査日の記載が必要か？
 - ◎ IPSSのみでも良いか？
- 再診のBPH患者に対してザルティアの追加は
 - ◎ 再度検査が必要か？
 - ◎ 過去に実施した検査日を記入するか？

17

ANSWER 6

ザルティア錠2.5mg、5mg
(ホスホジエステラーゼ5阻害剤：タダラフィル錠)

<効能・効果>前立腺肥大症に伴う排尿障害

<用法・用量>通常、成人には1日1回タダラフィル
として5mgを経口投与する。

出典：ザルティア錠2.5mg、5mg 添付文書

21

QUESTION 7 (豊島区 開業医)

泌尿器科に関する医学管理料のポイントを
説明して欲しい。
また、その場合の診療時間の縛りがあれば
教えて欲しい。

18

ANSWER 6

<使用上の注意>

- 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
 - α遮断剤を投与中の患者
- 相互作用
 - 併用注意

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
α遮断剤 (ドキサソゾン、 テラソゾン等)	ドキサソゾンとの併用により、 立位収縮期血圧及び拡張期血圧は 最大それぞれ9.81mmHg及び 5.33mmHg下降するとの報告がある。 また、α遮断剤との併用で失神等の 症状を伴う血圧低下を来したとの報告 がある。	本剤は血管拡張作用による 降圧作用を有するため、 併用により降圧作用を増強 するおそれがある。

出典：ザルティア錠2.5mg、5mg 添付文書

22

ANSWER 7

BOO1 特定疾患治療管理料

13 在宅療養指導料 170点

- 注1 第2部第2節第1款在宅療養指導管理料の各区分に
掲げる指導管理料を算定すべき指導管理を受けて
いる患者又は器具を装着しておりその管理に配慮を
必要とする患者に対して、医師の指示に基づき看護師
又は保健師が在宅療養上必要な指導を個別に行った
場合に、患者1人につき月1回(初回の指導を行った
月にあつては、月2回)に限り算定する。
2 1回の指導時間は30分を超えるものでなければ
ならないものとする。

出典：医科点数表の解釈 平成26年4月版 P.242

19

厚医発0417第4号
平成26年4月17日

地方厚生(支)局医療課長
都道府県衛生主管部(局)
国民健康保険主管課(部)長
都道府県後期高齢者医療主管部(局)
後期高齢者医療主管課(部)長

厚生労働省保険局医療課長
(公印省略)

使用薬剤の薬価(薬価基準)等の一部改正について

2 薬価基準等の一部改正に伴う留意事項について

(2) ザルティア錠2.5mg及び同5mg
本製剤の効能・効果に関連する使用上の注意において「本剤の適用にあたっては、
前立腺肥大症の診断・診療に関する国内外のガイドライン等の最新の情報を
参考に、適切な検査により診断を確認すること」とされており、適切な検査に
より前立腺肥大症と診断された場合に限り算定できること。また、診療報酬
明細書の記載に当たっては、尿流測定検査、残尿検査、前立腺超音波検査等の
診断に用いた主な検査について、実施年月日を摘要欄に記入すること。

23

ANSWER 7

(在宅療養指導料について)

- 在宅療養指導管理料を算定している患者又は入院中の患者
以外の患者であつて、器具(人工肛門、人工膀胱、気管カニューレ、
留置カテーテル、ドレーン等)を装着しており、その管理に配慮
を要する患者に対して指導を行った場合に、初回の指導を
行った月にあつては月2回に限り、その他の月にあつては月1回
に限り算定する。
- 保健師又は看護師が個別に30分以上療養上の指導を行った
場合に算定できるものであり、同時に複数の患者に行った場合
や指導の時間が30分未満の場合には算定できない。
なお、指導は患者のプライバシーが配慮されている専用の場所
で行うことが必要であり、保険医療機関を受診した際に算定
できるものであつて、患者において行った場合には算定でき
ない。
- 医師は、診療録に保健師又は看護師への指示事項を記載する。

出典：医科点数表の解釈 平成26年4月版 P.242

ANSWER 7

24

- B001 特定疾患治療管理料
- 3 悪性腫瘍特異物質治療管理料
- イ 尿中BTAに係るもの 220点 (膀胱癌)
- ロ その他のもの
 - (1) 1項目の場合 360点 (その他の癌)
 - (2) 2項目以上の場合 400点 (その他の癌)
- 注3 初回加算 150点

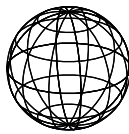
出典：医科点数表の解釈 平成26年4月版 P.228, 229

ANSWER 7

25

- B001 特定疾患治療管理料
- 3 悪性腫瘍特異物質治療管理料
- 注3 注2に規定する悪性腫瘍特異物質治療管理に係る腫瘍マーカーの検査を行った場合は、1回目の悪性腫瘍特異物質治療管理料を算定すべき月に限り、150点を口の所定点数に加算する。
ただし、当該月の前月に腫瘍マーカーの所定点数を算定している場合は、この限りではない。

出典：医科点数表の解釈 平成26年4月版 P.229



東京都各科医会協議会報告



副会長 長谷川 潤

1. 平成26年度定時総会(通算26回)が2014年7月7日に南国酒家にて開催されました。

平成25年度事業報告、会計報告、平成26年度事業計画、予算案が承認されました。

平成25年度に行われた主な協議事項は「他科医師に理解してほしい各科の特異性ある事項や告知したい事項」を中心に行われました。25年度は眼科、耳鼻咽喉科、小児科、精神神経科および内科の各医会よりプレゼンが行われました。なお、その要旨は東京都医師会雑誌に掲載されています。

26年度の事業計画としては、25年度に引き続き、皮膚科、泌尿器科、産婦人科および整形外科のプレゼンを行います。また、平成26年4月の診療報酬改定の各科に及ぼす影

響について協議を行います。

2. 平成26年度第2回幹事会が2014年10月6日に興和(株)東京支店にて開催されました。

平成26年4月の診療報酬改定の各科に及ぼす影響について意見の交換がありました。泌尿器科からは以下の3点を報告しました。

- 1) 「外来化学療法加算B」の算定基準の見直しによりホルモン効果をもつ薬剤での算定ができなくなり、それに代わるものとして「がん患者指導管理料3」などが新設された。
- 2) 前立腺針生検法にDRG/PPSが適用され「短期滞在手術等基本料3」の対象となった。
- 3) 経尿道的前立腺手術が見直され、電解質溶液利用のものが新設された。



過活動膀胱治療剤(コハク酸ソリフェナシン錠) 薬価基準収載
ベシケア[®]OD錠 2.5mg/5mg
処方せん医薬品 (注量・医師等の処方せんにより使用すること)
Vesicare

■「効能・効果」「用法・用量」「禁忌を含む使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売 **アステラス製薬株式会社**
東京都中央区日本橋本町2-5-1

[資料請求・お問い合わせ先] 営業本部 DIセンター ☎ 0120-189-371

Tokyo Urological Association

～泌尿器科医師保険診療講習会～

総務 小川 肇

平成 26 年 7 月 26 日 (土) 京王プラザホテルにて昨年引き続き東京泌尿器科医会・アステラス製薬株式会社共催で「保険講習会」を開催致しました。今年度は若手泌尿器科医に限らず、勤務泌尿器科医に参加いただける内容で実施しました。

46 名 (会員 26 名、勤務医師 20 名) の先生方に参加いただき、吉田英機会長の開会挨拶で始まりました。講演 1 は長倉和彦副会長の座長のもと JCHO 東京新宿メディカルセンター赤倉功一郎先生より現在最もホットな話題である「去勢抵抗性前立腺癌一発生機序と新規治療体系」を講演いただきました。今年度は新たに 3 剤の



CRPC 治療薬が登場し、それぞれの薬剤の特徴やどのタイミングで使い分けるかを詳しく講演いただき、数多くの質問があり興味の尽きないテーマであったと思われます。

講演 2 は小川肇理事の座長のもと東京臨海病院斎藤忠則先生より「平成 26 年度診療報酬改定～泌尿器科領域のポイント～」を講演いただきました。今年度改訂になった診療報酬では、悪性腫瘍特異物質治療管理料や在宅療養指導料に関する議論が多かったように思います。



引き続き来年度も定例会とは別にこのような機会を設け、多くの泌尿器科医師に参加いただける講習会を開催したいと考えています。

病院めぐり

独立行政法人地域医療機能推進機構 東京新宿メディカルセンター (旧：東京厚生年金病院)

私共の病院は、「東京厚生年金病院」として長く地域住民に親しまれ、その健康増進に貢献してまいりました。そして、2014 年 4 月より、新設された「独立行政法人地域医療機能推進機構」に属する病院として再スタートをきりました。「独立行政法人地域医療機能推進機構」は、英語名では「Japan Community Health care Organization (JCHO: ジェイコーと読みます)」と称し、全国の社会保険病院グループ、船員保険病院グループ、厚生年金病院グループ、合計 57 病院が一つになったものです。この組織改編にともない、当院の名称も「東京新宿メディカルセンター」とかわりました。同じ JCHO に属する病院として、東京都内では、東京山手メディカルセンター (旧：社会保険中央総合病院)、東京城東病院 (旧：城東社会保険病院) 東京高輪病院 (旧：せんぼ東京高輪病院)、東京蒲田医療センター (旧：社会保険蒲田総合病院) があります。JCHO の果たすべき



使命として、5 疾病 5 事業およびリハビリテーション、地域包括ケアへの積極的な関与、総合診療能力を有する医師の養成が掲げられています。当院としても、これらの事業に力を注いでまいりますので、ご指導ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

当院は、新宿区の東の端に位置しており、JR および地下鉄の飯田橋駅から徒歩数分の距離にあります。都内はもちろんのこと、埼玉県や千

葉県からもアクセスは容易です。また、目と鼻の先に神楽坂があり、安くて気軽に行ける店から高級店まで、食べ物屋を探すのには苦労しません。病床数は520床で、28診療科を標榜しています。平成25年度の1日平均外来患者数は1165.1人、1日平均入院患者数は457.8人、平均在院日数は12.5日、年間手術件数は5017件、救急車搬送受け入れ患者数は4328人でした。臨床研修指定病院、東京都認定がん診療病院、日本医療機能評価機構認定病院の指定・認定を受けています。また、都心の病院としてはめずらしく、緩和ケア病棟、リハビリ病棟、精神神経科病棟が整備されており、急性期治療からリハビリ、在宅あるいは緩和ケアへ、切れ目のない医療を提供しています。

泌尿器科は、初代部長平岡眞先生以来、三橋慎一先生、日景高志先生、井坂茂夫先生、そして赤倉へと引き継がれてきました。現在4名の常勤医と1名の非常勤医で診療にあたっています。CT、MRI、核医学検査機器、放射線治療装置など一般的医療機器をはじめとして、体外

衝撃波碎石装置、軟性・硬性尿管鏡、腎盂鏡、レーザー碎石装置、腹腔鏡手術機器、経尿道的手術機器などを有しており、悪性腫瘍や尿路結石症を中心として、泌尿器科疾患全般に対応しております。とくに、腹腔鏡手術については、機器も新しく更新して本格的に取り組んでおります。また、前立腺全摘除術後のPSA再発に対しては積極的にサルベージ放射線治療を行っています。当院では当初より血液透析を泌尿器科が担当してまいりました。現在は、腎臓内科医と泌尿器科医が協働して血液透析治療に携わっています。

当科の方針として、十分な説明と同意に基づいて、親切で心温まる医療を提供することをモットーとしています。また、セカンドオピニオン、逆紹介、前立腺がん地域連携パスなどを通じて、他施設やかかりつけ医との連携を強化してまいりたいと願っています。ぜひともご紹介あるいはお問い合わせくださいますように、お願い申し上げます。

(泌尿器科部長 赤倉功一郎)

新規開業紹介

まるも腎・泌尿器科クリニック

丸茂 健 先生

平成26年4月21に東急池上線池上駅から徒歩7分のビル2階を賃借してクリニックを開院致しました丸茂 健と申します。昭和23年に広島県で生まれ、江東区の砂町で育ちました。昭和51年に慶應義塾大学医学部を卒業して、同大学で泌尿器科医としての第一歩を踏み出しました。これまでは栃木県、沖縄県をはじめ、15施設を数える病院で多くの先輩に泌尿器科の手ほどきを受けてまいりましたが、平成17年より東京歯科大学市川総合病院泌尿器科部長を9年間務め、平成26年3月に同病院を定年退職し、開業医の仕事にスタート致しました。

これまで一般泌尿器科のほかにも男性性機能障害の患者さんもお世話する機会もあり、勃起障害の薬物治療も併せて行っていく所存です。クリニック開設にあたりまして、これまでの教員



生活による地味な収入と転居の繰り返しで、いまだにアパート住まい、固定資産税も払っていません。そのため銀行のローンなど夢のまた夢です。医療設備は超音波診断装置、心電図、血圧計のみで、痛いことといえば私が行う採血のみです。採血と点滴は上手なほうです。もちろん職員は受付事務の1名だけです。消防署に報告義務のある防災訓練も彼女と二人で行いました。

泌尿器科の教員時代には高齢の患者さんはもとより、慢性腎不全の患者さんも大勢お世話をしていました。そのためクリニックの患者さんにつきましては高血圧症、糖尿病、高脂血症、風邪症候群、不眠症、様々な消化器症状、全身掻痒症など守備範囲が広がりました。これまでの経験が役に立っています。

泌尿器科疾患に限りましては、尿検査は試験紙を用いて、血液検査と尿細胞診を外注に出しています。超音波診断装置は前立腺のサイズの測定、残尿測定、腎・尿管など尿路の評価に限っています。CT検査を近隣の総合病院に依頼していますので不足はなく、悪性腫瘍につきましても、本稿をしたためています2014年9月末現在、開院5か月の間に、50歳の女性で径2.5cmの右腎細胞癌を、30歳の男性で右精巣癌の診断を致しました。

私の義理の父の話になりますが、心筋梗塞の

ため今年1月に94歳で他界しました。父は92歳まで耳鼻科の開業医として働いていました。父を見習えば、あと30年近くは仕事ができると思っています。余暇の過ごし方は、住まい近くの大学で法医学教室の教員を務めております家内と、今日あったことなど話して終わります。

日曜日は老人ホームに入所している88歳の義母を訪ねて日頃の報告をすることが毎週の日課です。ゆっくりと過ぎていく時間は生まれて初めて経験するものです。未熟な私ですが、皆様のご指導を仰ぎたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新規開業紹介

さくまクリニック

咲間 隆裕 先生

はじめまして。少し遅くなってしまいましたが、平成24年6月4日、都営大江戸線光が丘駅すぐの光が丘クリニックモール内にさくまクリニックを開院いたしました咲間隆裕と申します。よろしくお願い申し上げます。



平成13年日本大学医学部を卒業し、同大学泌尿器科学教室に入局。平成15年から同大学院に所属し、脂肪組織にある幹細胞を用いた膀胱機能再生を研究し医学博士を頂きました。大学院卒業後は川口市立医療センターなどを経て、平成21年度より助教として日本大学医学部附属板橋病院に勤務していました。大学では手術、化学療法などのがん治療の臨床が中心でしたが、排尿障害、特に夜間頻尿と睡眠障害についての臨床研究を担当し、国内外の学会発表や論文作成などを行っていました。ちょうど同時期に父の肺がんが見つかり、長い余命が見込めないことがわかりました。「父の在命中に医師として独り立ちした姿を見せたい」と愚考し、開業することを決意しました。練馬区光が丘は2年前ま

で母校の日本大学附属練馬光が丘病院があり、私自身も10年前に2年間ほど勤務していた場所です。開業するなら自分が勤めていた病院の近くがよいと考え、この場所での開業を決めました。その後日本大学の撤退と重なり、泌尿器科に通院していた内分泌療法中の前立腺癌の方や定期的カテーテル交換中の方など多くの患者さんを引き続きフォローアップさせて頂いております。また開業してから3年目になりますが、近隣の開業医の先生方はもとより、日本大学医学部附属板橋病院、順天堂大学医学部附属練馬病院、練馬光が丘病院などの先生方からも泌尿器科疾患のフォローアップをご依頼されることが増え、泌尿器科開業医としてのやりがいを感じながら日々外来診療に従事しております。父は昨年11月に他界しましたが、私の開業をととても喜んでいたようで、最後に少しは親孝行できたかなと思っています。

趣味というほどではありませんが、休日に自宅近くの公園を10kmぐらいジョギングすることが一番のストレス解消法です。来年3月には光が丘公園からスタートする第1回練馬こごしハーフマラソンが開催されますので、是非参加したいと思っています。

最後になりますが、このような新規開業紹介の機会を頂き、誠にありがとうございました。若輩者ですが、地道に地域医療に貢献できるよう努力していく所存です。本会の諸先輩方には今後のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤 薬価基準収載
ザルティア[®] 2.5mg 錠5mg
 タダラフィル錠
 Zalutia[®]
処方せん医薬品 (注意-医師等の処方せんにより使用すること)

新発売

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌(原則禁忌)を含む
 使用上の注意等については添付文書を参照してください。

ザルティア[®]およびZalutia[®]は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの登録商標です。

発売元(資料請求先)
日本新薬株式会社
 京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14

製造販売元
Lilly 日本イーライリリー株式会社
 〒651-0086 神戸市中央区東上道7丁目1番5号



2014年4月作成 A4/4

隠れ家 紹介

中国料理 香港園

東急目黒線不動前で開業している本間です。バックナンバーを読むとフレンチ、イタリアン、和食、すし店、焼き肉店と食通の多い先生方を唸らせるお店が紹介されてきましたが、今回は中華料理です。

隠れ家ではないのですが、小生お勧めの JR 目黒駅徒歩 1 分「中国料理 香港園」を紹介させていただきます。

目黒駅西口を出て左前方の行人坂を少し下れば香港園の赤い電光掲示盤がすぐ見えます。(ぜんぜん隠れ家ではない!) 創業 60 年の老舗ですが東京生まれでも知らない先生方も多いのではないのでしょうか? 香港園は現在の社長の祖父、王伝熊氏が 1954 年に上海から日本に渡り、川崎男爵から昔の洋館を借りて始めたそうです。開業当初は上海から香港経由で来た華僑の宿泊施設だったそうです。

小人数から個室も利用でき、メニューはやや定番ですが、前菜の盛り合わせ、空芯菜の炒め、海老チリ、北京ダック、魚の丸揚げ甘酢あんかけ、マーボ豆腐、チャーハン、杏仁豆腐と本当にお腹いっぱいにしてもらえて紹興酒やビールも頼んで 6000~7000 円位です。数人から 50 人以上の宴会でも対応できるので大勢で行っていろんなメニューを少しづつ食べるのも中華料理の醍醐味ではないでしょうか。



ふかひれの茶碗蒸しは皆うまいと言っています。

建物もそうですが、店内には歴史を感じさせる水墨画や創業者と交流のあった様々な著名人

との写真も飾られています。例えば、横山大観氏、犬養毅氏若かりし頃の王貞治氏の写真も飾ってあります。料理の味も昔風の懐かしさがありますが、店全体が醸し出す雰囲気も THE 昭和といったノスタルジックな感じですよ。ランチもあり非常に気楽に足を運んでいただけるお店だと思います。



お店ホームページ:

<http://hongkongen.com/>

(本間次郎)

編集後記

今年も残り少なくなりました。来年は東京泌尿器科医会が 20 周年を迎え 3 月には第 40 回記念学術集会在予定されています。この 20 年は泌尿器科治療が劇的に変化した期間だと思います。とりわけ私が開業した 15 年前からの発展には驚愕するものがあります。ESWL の普及・腹腔鏡治療・ダヴィンチの出現など従来の技術とは全く異なるものがイノベーションをもたらしてくれています。薬物治療も抗がん剤などの選択肢が増えて今までにない効果を得ています。最近では開業医が学会に参加しても全く理解できない分野もあり、困惑することもしばしばあります。私は東京泌尿器科医会が最新の泌尿器科医療と実際の診療とのギャップを少しでも埋めてくれる存在として、ありがたいと感じています。会員の皆様の御意見を頂いて広報担当もレベルアップをして行きたいと考えています。(T.T)

賛助会員

旭化成ファーマ株式会社/あすか製薬株式会社/アステラス製薬株式会社/アストラゼネカ株式会社/エーザイ株式会社/大塚製薬株式会社/小野薬品工業株式会社/科研製薬株式会社/キッセイ薬品工業株式会社/杏林製薬株式会社/グラクソ・スミスクライン株式会社/シェリング・プラウ株式会社/塩野義製薬株式会社/大鵬薬品工業株式会社/武田薬品工業株式会社/第一三共株式会社/中外製薬株式会社/株式会社ツムラ/帝人ファーマ株式会社/日本新薬株式会社/日本化薬株式会社/ファイザー株式会社/扶桑薬品工業株式会社

(50音順)